

あいちトリエンナーレ 2019 舞台芸術公募プログラム
愛知ロシア音楽研究会創立 10 周年記念演奏会

演奏会形式

サルタン王の物語

～熊ん蜂が飛ぶところ～

<脚本・台本>
亀山郁夫

<企画・構成>
安原雅之 笥 聡子 相羽良美

<制作>
笥 聡子

<演出>
森山 太

<音楽アドバイザー>
岸本 力

<出演>
サルタン王・語り手
森山 太
ミロトリーサ王妃（三女）
笥 真美子
トカチーハ（次女）
木村洋子
ポバリーハ（長女）
川畑久子
ハバリーハ
笥 聡子
グウィドン王子
永井秀司
白鳥王女
金原聡子
名古屋少年少女合唱団
ヴァイオリン
江頭摩耶
チェロ
野村友紀
フルート
笥 孝也
ピアノ
原田綾子
丸山晶子
山下 勝
吉永哲道
渡辺理恵子



2019 年 9 月 28 日（土）5:30pm 開演
（4:45pm 開場）
愛知県芸術劇場コンサートホール

入場料 3,000 円（全席自由） 小・中学生 無料（要整理券）

Illustration by Takeshi Tanabe

♪チケット取り扱い♪

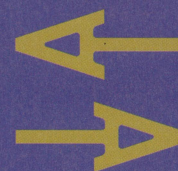
アイ・チケット ☎0570-00-5310 clanago.com/i-ticket
芸文プレイガイド ☎052-972-0430 栄プレチケ 92 ☎052-953-0777

主催：愛知ロシア音楽研究会

共催：あいちトリエンナーレ実行委員会 / 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

後援：日本・ロシア音楽家協会 / 日口友好愛知の会

マネジメント・お問い合わせ：クラシック名古屋 ☎052-678-5310



情の時代
あいち
トリエンナーレ
2019

舞台芸術公募プログラム

演奏会形式

サルタン王の物語

～熊ん蜂が飛ぶところ～

リムスキー・コルサコフ作曲
プーシキン原作

オペラ『サルタン王の物語』

みなさん、「シンデレラ」のお話はご存知ですね。3人姉妹と育ての親が一人。三女が王子（ここではサルタン王）と結婚する。三女（ミリトリーサ）は長女と次女、そして育ての親（ここではババリーハ婆さん）から意地悪をされる（意地悪3人組）。ここまではそっくりのお話です。この先が違って、お話は続きます。

ミリトリーサは結婚するとすぐに元気な男の子を産みます。しかし、王様は戦争で留守。王様への伝令の手紙を、意地悪3人組がすり替えます。＜人間ではなく獣の男の子が産まれた＞と。それを見た王は怒り、＜妃と子供を樽に詰めて海に流してしまえ！＞と伝言。

樽に詰められた親子は波に運ばれるが、その間、子供は1時間ごとにぐんぐん成長し、ブヤーン島に着いた時には、立派な若者になっている。すると目の前に美しい白鳥が大きな海鳥に襲われるところ！若者グヴィドンはすかさず弓で射落す。その海鳥は悪い魔法使いで、隣の国の王女を白鳥に変えてしまっていた。白鳥はお礼を言ってその場を去る。グヴィドンはやがてこの島の立派な統治者となり、島は栄えるが、父サルタン王に会いたい気持ちがあつた。

そこに白鳥が現れ、グヴィドンを『熊ん蜂』に変身させる。有名な『熊ん蜂の飛行』のはじまり！
グヴィドン熊ん蜂は飛びに飛び、サルタン王の宮殿へ…

さて、この後は……会場にて♪

【挿入曲】

- ・「シェーラザード」より～アラビアの歌～ ・色あせたバラ色に遠く西空は暮れゆき op39-2
- ・オペラ「金鶏」より～太陽への賛歌～ ・ロシア民謡（挿入曲は変更になる場合があります）



森山 太
サルタン王・語り手



笥 真美子
ミリトリーサ王妃（三女）



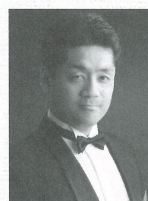
木村洋子
トカチーハ（次女）



川畑久子
ボバリーハ（長女）



笥 聡子
ババリーハ



永井秀司
グヴィドン王子



金原聡子
白鳥王女



江頭摩耶
ヴァイオリン



野村友紀
チェロ



笥 孝也
フルート

＜脚本・台本＞

亀山郁夫

＜企画・構成＞

安原雅之

笥 聡子

相羽良美

＜制作＞

笥 聡子

＜演出＞

森山 太

＜音楽アドバイザー＞

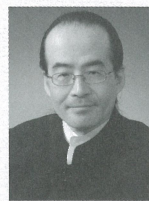
岸本 力



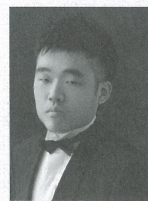
原田綾子
ピアノ



丸山晶子
ピアノ



山下 勝
ピアノ



吉永哲道
ピアノ



渡辺理恵子
ピアノ



名古屋少年少女合唱団